

であいてん&夏まつり



降りだした。でも何とかできそうな空模様で、そのような期待と不安の内に刻々と夏祭りの時刻は迫ってきます。

そのころ、「であい展」の会場では、押花作品づくりの体験教室を行っていて、家族連れなど満員御礼の大盛況、皆さん出来上がった作品を大事にお持ち帰りです。

館外では、小雨の中、威勢の良い太鼓の響きとともに、踊り手の皆さんが浴衣衣裳も粋で艶やかに盆踊りが始まった。雨は降ったり止んだりが続いたが、突然の土砂降りの雨、小康状態も続くが、野澤連合自治会長から盆踊り中止の放送が館外に流れる。

最後に、今回初めての試みとして用意された「くじ引き」が行われた。一等は自転車、二等は扇風機と豪華景品が用意され、「やったー」と喜ぶ者「来年こそは」と思う者、時折、雷鳴が響き渡り、強く降る雨の中にあって、色々な歓声が入り混じった忘れられない夏まつりとなりました。何はともあれ、皆さんの顔には、たくさんの笑顔が咲いていました。

準備から後片付けまでご協力いただいた皆さん、ご来館いただいた皆さんに感謝いたします。

2014年8月10日から16日までの1週間、瀬戸会館で第7回「であい展」と最終日16日には地元との共催で「夏まつり」を開催しました。

9日、いよいよ「であい展」前日。準備完了まで、皆さんの和気あいあいとした中でも必死の形相？そのおかげで展示会場であるA・B室は、別の部屋へと様変わりをし、今年は、10日の初日、西条人権擁護委員協議会の人権啓発キャンペーンの要請などもあって、オープニングセレモニーを計画。社友会歌声サークルの皆さんの熱意のもと、実現かと思いきや、台風11号が四国上陸との予報もあり、止む無く中止を決定しました。そのため、午後からの「であい展」となりました。それでも雨が降り続く中、瀬戸会館に初めて訪れた人、各サークルで瀬戸会館を利用している人、作品展示協力者、地域住民の方々が瀬戸会館まで出向いて来られ、人と人との交流が始まり、一安心しました。

二日目に、市長も来館、作品を感動的に鑑賞し、ビンの中の瓢箪の謎を解き明かすべく実に執心でした。人と人がつながり、出会いの大切さを感じる素晴らしい「であい展」が引き継がれていることに、皆さんは感動され、主催者としてうれしい声です。

最終日は、地元主催の夏祭りだが、早朝来の大雨の余波もあって、午後からの準備になった。垂れ幕、万国旗、出店の準備も準備万端整ったころ、雨がしとしとと

つづく



〒792-0821

新居浜市瀬戸町7-30
新居浜市瀬戸会館



TEL: 0897-41-5859 (Fax 兼用)

E-mail:

seto@city.niihama.ehime

来館者からの感想の一部を紹介します。

- ・会場がとてもアットホームで日頃の活動の様子が目に浮かびます。
- ・もっとたくさんの人に出会いたいです。
- ・多くの方とお会いできて良かったし、来年も来たいです。



9月の主な行事予定

★愛媛県隣保館職員実務担当者研修会

九月四日(木)

★館長等研修会

九月五日(金)

★移動図書館青い鳥号

九月十日(水)

十四時～十四時四〇分

★「人権のつどい日」

九月十一日(木) 十九時三十分～

東予地区人権・同和教育研究協議会において実践報告される方の事前報告会をおこないます。

★絵本の読み聞かせ

『さくらクラブ』 泉川小学校放課後児童クラブ

九月二日(火)・二六日(火)

★回転木馬

瀬戸児童館

九月二日(火)・

十時三十分～十一時三十分

★人権・同和教育関係行事

九月二六日(金)

社会教育部会(第二回)―市民文化センター―
東予管内人権・同和教育担当者会

四国中央市



新たなスタート、役員会開催される

8月7日(木) 19時30分から瀬戸会館において、「南沢笑子さんの想いをつなぐ会」役員会が開催され、現状報告と今後の方向性などが話し合われました。

瀬戸会館からは、笑子さんに関する資料の整理を順次行っていることや会館を利用される主任会等々において、この会の趣旨の説明と会員の募集を行っていることなどが報告された。また出席者からは、今後の方向性として、月1回の役員会の開催、笑子さんに関する資料の読み合わせと資料の電子データ化、年1回の活動報告の作成、会員を対象とした勉強会を年2回開催することなど、数多くの意見が出されました。“笑子さんの事なら瀬戸会館に行けばなんとかなる”を合言葉に日々の実践が、いよいよスタートいたします。

「人権のつどい日」にひろう

講師：松本秀樹（南沢笑子さんの想いをつなぐ会会長）

講演：「南沢笑子さんの想いをつないで」～新居浜市結婚差別事件(1960年)から学ぶ～

「この世から、『部落』というものをなくし、これから人生を歩む若い人たちへ・・・。」12通の手紙には、恨みつらみがない人としての誇りが書かれていました。苛酷な差別の様子が綴られ、「私にも人間としての人権があり、又自尊心もあります。」との想いを伝え、孤独のなか、一人、差別に耐える笑子さんの苦衷が綴られていました。

人間を差別することは、人間を否定することに繋がります。人としての優しさを育み、故郷(ふるさと)を誇りに生きること、同和教育がないことの意味について、熱く語られました。一人でも多くの方が、「南沢笑子さんの想いをつなぐ会」に集われることを願ってやみません。

出席者からのアンケートを紹介します。

- ・人間としての誇りは毅然として失わず、部落差別をなくしてほしいと願っていた笑子さんの想いを重く受け止め行動したい。
- ・南沢笑子さんの手紙の内容を知り、笑子さんのお人柄が伝わってきた。「人間の誇り」ということが強く印象に残った。自分を変えていくために研修会に参加していきたい。人として美しく、正しい生き方をしたい。



- ・被差別の側から差別をなくする側への変容。人としての誇りを失わず立ち向かう姿こそ人を尊敬することの意味を知りました。
- ・同和教育の根本は人としての誇りであるということがよく分かった。差別をなくするためにどう伝えるか大切なことである。



十人会は毎週木曜日

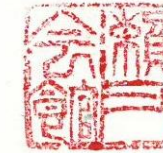
19時まで瀬戸会館事務所を開放しています。

たわいもない話や、どうも人には言いにくい話などなど、何でもかまいません。

お気軽にお立ち寄りください。



篆刻教室紹介



小さな空間に朱と白のコントラストが美しく、造形感覚が盛り込まれた芸術です。

毎月第2・4土曜日 午後13:30～

場所：瀬戸会館

初めての方も大歓迎です。一緒に作ってみませんか？

詳細は瀬戸会館まで



詩吟教室紹介

毎週火曜日午前10時から12時までの2時間おしゃべりや、普段出さない大きな声をはりあげ楽しく練習しています。

若い方も大歓迎です。



毎月第3火曜日、午前9:30からを定例として

「ゆめ喫茶」をオープンいたします。

午前9:30～11:30(今月は16日です。)

ワイワイガヤガヤ、しゃべりまくって日頃のうっぷんを晴らしませんか？

瀬戸会館活動連絡協議会(ゆめじゅく会)

お願いです。

瀬戸会館で使う食器などが不足しています。ご家庭でいらなくなったもの、ご寄付いただければ嬉しいです！

